

第11回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

1. 日時

令和7年6月23日(月) 10:00~12:00

2. 会議形式

中央合同庁舎第3号館6階都市局局議室(東京都千代田区)

3. 主な出席者

〈外部有識者〉	中 井 検 裕	東京科学大学名誉教授
	井 上 由起子	日本社会事業大学専門職大学院教授
	大 森 有 理	弁護士
	小 松 哲	公認会計士
	樋 野 公 宏	東京大学大学院工学系研究科准教授
〈国土交通省〉	楠 田 幹 人	住宅局長
	内 田 欽 也	都市局長
〈都市再生機構〉	石 田 優	理事長
	田 島 満 信	副理事長
	辻 次 賢 二	理事長代理

4. 議事

- (1) 令和6年度における業務実績評価について
 - ①理事長ヒアリング及び自己評価について
 - ②主務大臣評価(案)について
- (2) 令和6年度退職役員に係る業績勘案率(案)について

5. 議事概要

- (1) 議事(1)①について
 - 都市再生機構(以下「機構」という。)の令和6年度における業務実績の概要等について、理事長からヒアリングを行った。
 - 機構の令和6年度における業務実績に係る自己評価について、機構から説明がなされ、外部有識者から質疑応答が行われた。
 - 外部有識者から、今後の機構に対する期待として、主に以下の意見があった。
 - ・都市再生のコーディネートについて、数値目標は達成されており、今後は、支援の質を高めるような取組を期待する。
 - ・世代のミクストコミュニティだけでなく、外国人等を含めた多様な世帯のミクストコミュニティの形成に向けて、積極的に取り組んでほしい。
 - ・脱炭素社会の実現に資する取組として、公団時代に新しいライフスタイルを提案してきた経緯を踏まえて、今後、居住者の環境行動を促進するような取組を期待する。
- (2) 議事(1)②について
 - 機構の令和6年度における業務実績に係る大臣評価(案)について、事務局(国土交通省)から説明を行った。
 - 外部有識者から、令和6年度におけるI2(2)「ストックの活用・再生による良質な住まい・まちづくり」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・省エネ改修については、技術の発展が大きい分野であり、UR賃貸住宅ストックの省エネ改修による年間CO₂削減効果量について、中期目標の前倒し達成を期待したい。

- 外部有識者から、令和６年度におけるⅠ３（２）「災害からの復旧・復興支援」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・茨城県大洗町での防災集団移転促進事業の支援については、事前防災の初事例として非常に素晴らしい取組であり、高く評価したい。
 - ・地方公共団体等における災害対応力向上に資する人材育成の支援のための研修の提供など、災害対応支援に係る機構の取組を高く評価しており、質的に顕著な成果を得られるよう、更なる取組を期待したい。
- 外部有識者から、令和６年度におけるⅢ「財務体質の強化」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・金利上昇など今後コスト増大が見込まれるため、引き続き、安定した財務体質の維持を期待したい。

以 上